

2024年12月23日

各位

株式会社 北海道銀行

**蘭越町と株式会社バイウィルとの環境価値活用による
カーボンニュートラル達成に向けた連携協定の締結について**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、北海道蘭越町（町長 金 秀行）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎、以下「バイウィル」）との間で、12月23日（月）に連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定をもとに、蘭越町内で創出可能なJクレジットをはじめとする各種環境価値に関する情報・ノウハウ等の共有や、新たなビジネスモデルの創出に取組み、三者が連携して地域のカーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

記

1. 連携事項

- （1）環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- （2）環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- （3）その他、本協定の目的に資すると当事者すべてが認める事項

2. 本連携協定締結の経緯

蘭越町は、地域新エネルギービジョンにおいて、2050年度のCO2排出量実質ゼロを目標とし、実現に向けて省エネ化の推進や再生可能エネルギーの積極的な導入などの取り組みを進めています。また、町域面積のうち林野面積が78%を占める蘭越町では、十分な森林管理が課題です。

金町長は、民有林の造林事業推進や担い手の育成・確保に取り組む「一般社団法人北海道造林協会」の会長を務めるなど、森林施策推進に対して多面的な支援・取り組みを進めています。

このような背景から北海道銀行は、Jクレジット創出事業を支援するバイウィルを蘭越町へご紹介し本締結に至りました。今後、バイウィルは森林由来のJクレジット創出・販売をご支援する予定です。販売面では北海道銀行も協力し地域活性化を図ってまいります。

3. 締結式

- （1）日時 2024年12月23日（月）13時30分
- （2）場所 北海道自治会館 5階
- （3）出席者

蘭越町 町長	金 秀行
バイウィル 執行役員	齋藤 雅英
北海道銀行 執行役員	佐藤 泰範



(写真左から佐藤執行役員、金町長、齋藤執行役員)

4. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 経営企画部	サステナビリティ推進室	大西	Tel(011)233-1009
地域創生部		渡辺	Tel(011)233-1274